

2023年6月21日

【SDGs・企業市民活動に取り組んでいます】

商船三井グループは「青い海から人々の毎日を支え、豊かな未来をひらきます」という企業理念の下、社会が抱える課題に率先して取り組み、責任ある行動をとることを行動規範の一つとして掲げています。

また、様々な社会課題の解決に向け、本業を通じた社会貢献に加え、企業市民活動にも真摯に取り組むことで、持続可能な社会の実現、およびSDGsの達成に貢献していくことを方針としております。

この度、広島本社が「GREEN SEA瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（略称GSHIP）」に賛同の上、G7広島サミット開催100日前、50日前に合わせて元宇品地区及び宮島・包ヶ浦自然公園の海岸清掃活動を行いました。また、防府営業所が「CO2削減ほうふ市民運動」に協賛しCO2削減活動に取り組んでおります。



※「GSHIP」とは、広島の県民・団体・事業者・行政が相互に連携・協働しながら、2050年までに新たに瀬戸内海に流出するプラスチックごみをゼロにしようとする試み。

商船三井グループが設定した5つの[サステナビリティ課題](#)

商船三井グループでは、事業を通じて優先的に取り組むべき社会課題として特定した「サステナビリティ課題」への対応を推進することで、持続可能な社会の実現に貢献します。本件は、5つのサステナビリティ課題の中でも特に「Environment-海洋・地球環境NNN境の保全-」にあたる取り組みです。

